

## 平成 27 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：神岡鉱山における歪・傾斜・地震計測  
英文：Strain, tilt, seismic measurement in Kamioka-mine

研究代表者 荒木英一郎  
参加研究者 木村俊則、町田祐弥

### 研究成果概要

海洋研究開発機構では、南海トラフに設置するための「長期孔内観測システム」の開発・設置を目的として、神岡鉱山坑内に深さ約 21m の陸上試験孔を掘削し、2010 年に南海トラフに設置した観測システムと同様のシステムを試験孔に設置し、注水実験や長期評価試験を行っている。今年度は前年度に引き続き陸上試験孔での評価試験を行った。平成 27 年度には、前年度に引き続いて、神岡鉱山坑内の陸上試験孔にて歪・傾斜・温度計測を行った。また、平成 25 年度に整備した地震計台、および掘削孔を利用して傾斜計、地震計等の孔内センサーの評価試験を実施した。評価したセンサーは 2016 年 4 月に南海トラフへ IODP Exp 365 航海において IODP C0010A 孔に設置した。来年度以降には他の観測点への設置も計画中である。このため、センサー評価試験を引き続き継続実施している。また、陸上試験孔内の歪・傾斜計・温度計のデータについても長期間安定性等、測器の評価を引き続き実施した。

整理番号 B17